

梁川ホームだより

●平成20年12月25日発行

No.
25

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 岡崎 康之
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111 FAX 024 (577) 6115
■ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員20名
- デイサービスセンターⅠ型
- デイサービスセンターⅡ型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
〔梁川ホーム運営理念〕
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を求めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

9/14 敬老会を開催 いつまでもお健やかに



特集24「人間尊重の 施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

利用者の方へ
よりよいサービス提供のために

社会福祉法人信達福祉会 サービス評価

社会福祉法人信達福祉会では毎年、特別養護老人ホームあつかし荘、梁川ホーム、川俣ホーム並びにケアハウス広瀬で生活する利用者の方々に対して、自分たちが適切なサービスを提供できているかどうかを、それぞれの施設の職員同士で評価しています。今年度もこのサービス評価を梁川ホームは11月7日に、ケアハウス広瀬は11月21日にそれぞれ実施しました。

この評価方法では、まず施設のサービス提供状況について自己評価を行ない、その後他の施設の職員が、その施設の自己評価が妥当であるかどうかを判断していきます。

どんな内容の評価をするの？

実際の評価の項目は広範囲にわたります。

●食事サービス、入浴サ-

ビス、排泄サービスはもとより、

●利用者や家族との交流の機会を設けて、家族に参加を働きかけているか、

●介護看護等の職員間の連携がきちんと取れているか、

●施設内の環境は落ち着いた生活しやすいものになっているか、

●他のサービス機関や医療機関との連携がうまくいっているか、

●リハビリやレクリエーション活動が充実しているか、

●利用者や地域社会との繋がりを施設が遮断してはいないか、

●職員の資質向上を積極的に進めているか、

●災害時や利用者の緊急時にスムーズに対応出来るよう、定期的な訓練を実施しているか、

などについて評価していきます。

評価の段階はA B C Dの

4段階で、最高がA、最低がDの評価です。

どんな評価結果だったの？

全体的な雰囲気としては、明るい、ゆったりしているなどの好印象を持っていただいております。梁川ホームやケアハウス広瀬ですが、利用者の皆さんへの直接的なサービスではありませんが、細やかなサービスの部分では、さすがにD評価はないものの、C評価のついてしまう項目もありました。

例えば新任職員の研修については、現場に入る前に事前研修の時間を十分に取ることが出来ず、短時間の



研修で終了、現場で業務をこなしながら覚えていってもらわざるを得ない状況のため、評価結果はCとなりました。

しかし、昨年度C評価であったものを検討して改善に取り組み、評価が上がった項目がありました。

例えば、今年度は選択食の回数を増やして食事サービスの向上を図り、利用者・ご家族の定期的な相談日を毎月第1・第3木曜日に設けるなどのサービス改善を行ったものです。

今後の課題は？

評価が低いものについては次年度の事業計画に盛り込んで改善に取り組み流れを作っており、早急に改善に努めていきます。

今年度は、それぞれの施設で自己評価をする際の設問の解釈に幅が出てしまいました。

このことについては今後代表者会議等で検討して、法人内のサービス評価の基準をしっかりとしたものにして、来年度以降も取り組みを継続して行きたいと考えています。

身体拘束廃止に向けて

施設現地相談実施

身体拘束は利用者の行動の自由を奪い、その方の人間性を否定する行為として、現在法律により厳しく禁止されています。

自分自身や他人を著しく傷つけ、命に関わる危険があるというようなやむを得ない理由があり、その方法以外に手段がなく、一時的に行うものという条件でのみ、本人及び家族の同意をもって身体拘束を実施するケースはありますが、安易な身体拘束は全く認められていません。

梁川ホームではこれまで身体拘束廃止に向けての取り組みを積極的に進めてきましたが、自分たちの取り組みが間違っていないか、都合のいいように解釈をした取り組みになっていないかを一度振り返ってみるために、この現地相談を実施しました。



身体拘束廃止に向けた施設現地相談事業

身体拘束廃止に向けた施設現地相談事業とは、福島県身体拘束ゼロ作戦推進会議委員、県の身体拘束相談専門員の方が、施設等の身体拘束廃止に向けた取り組みについて具体的な介護方法の実践等の助言、支援を行っていくものです。

10月29日(木)午後1時30分、福島県身体拘束ゼロ作戦推進会議委員の小平先生、菅野先生、県高齢福祉課身体拘束相談専門員の釜田先生と県の高齢福祉課の職員3名の計6名の方をお



迎えして、まずは、施設内の一部屋一部屋を点検していただくことから始まりました。

職員は日頃何気なく行き来している利用者の皆さんの居室ですが、果たして先生活の目にはどのような映るのか。

時間を充分にかけてお部屋のベッド周り等をチェックしていただいた後、会議室に於いて意見交換会を行いました。

意見交換の席で伺った先生活方のご意見を紹介させていただきました。

「利用者の活動性を抑えてしまう行動を身体拘束という。片側が壁の場合のベッド柵一本、床に畳を使用すること、胃ろうチューブの保護のために腹巻を使用すること等は、身体拘束と捉えなくても良いだろう。」

「一般の人は身体拘束がわからないので、施設は身体拘束が何故いけないかを説明していかなければならない。オムツも身体拘束にあたるので、オムツはなるべく減らしていくようにする」

こと。また、家族が同意したからといって、身体拘束が合法化されるものではない。」

「世の中はバランスで成り立っている。身体の事故を防ぐために入所者の行動を抑制すること、入所者の人権を侵害してはいけないということのバランスの取り方を間違えないことが大切である。」

「回廊式の建物のため管理が大変だろうと思うが、特養エリアへの入り口の鍵は気になる。実際には特養エリア内でも利用者の皆さんが行動する広さは充分にあり、直接的な拘束にはならないが心理的な拘束を感じます。見守りは施設全体で行なうようにしたり、近所の方たちにも知ってもらっておいた上で、日中だけでも鍵を開けておいて欲しい。」

これからの取り組みのきっかけとして：

今回先生方に、梁川ホームにおける様々な取り組みが、入所者の行動を制限するものではないと判断して

いただき、安堵したとともに自信を持つことも出来ました。

また、ご意見の中で指摘のあった特養エリアへの入り口の扉については、今後慎重に職員間で検討を重ねていく必要があることも感じました。

その上で、これからも利用者の方々に快適な生活を過ごしていただくために、職員一丸となって身体拘束廃止を推進していかなくてはならないと、気持ちを新たにすることが出来ました。

職場風土改革推進事業

社会福祉法人信達福祉会では(財)21世紀職業財団の「職場風土改革推進事業実施事業主」の指定を受けました。

これは、従業員の仕事と家庭の両立を目的として、事業所が支援する取り組みで、具体的には育児休暇の取得、介護・看護休暇の取得の推進、ノー残業デーの制定、有休取得の推進等に力を入れています。



外出も外食も楽しいですね! 皆様、良いお顔です



とり！
四季の里に到着するころ

梁川ホーム

バスハイウェイ
四季の里

10月23日、利用者の皆様と四季の里にバスハイクに行ってみました。

には、お腹も空いてちやうどランチャイム。手打ちそばや好みのメニューを注文し、ほとんどの方が完食でした。

食事のあとは、四季の里を一周して色とりどりの草花を観賞し、楽しいひとときを過ごしてきました。帰りがてら、伊達のヨークベニマルで回転焼きやソフトクリームを食べたり、買物をしてきました。

お月見だんご

10月15日、福島県北石工組合の皆様が来園され、石で作った石臼で、ひき粉の演劇を実演してくださいました。

利用者の皆様は昔取った杵柄で、石臼を上手に回し、懐かしそうに楽しく参加されました。

挽いた米粉は、あんこやきな粉をかけてお団子に、コーヒー豆は、香り豊かなコーヒーとしていただきました。

今まで経験したことのない、おいしく楽しい体験をさせてくださった、福島県北石工組合の皆様、ありがとうございました。



お団子、本当においしかったです



利用者の皆様は「懐かしいねえ!!!」若い職員は「おもしろい!!!」の反応でした



運動会

11月19日、毎年恒例の運動会が行われました。

ふだんはあまり使わない身体を、この日ばかりは夢中になって動かし、紅白玉入れ、風船バレー、仮装大会に大きな声援が飛び大いに盛り上がりました。

これからますます寒い日
がやってきます。利用者の
皆様には風邪などひかず
に、お元気にお過ごしいた
だきたいと思ひます。



フレイフレイがんばれ!



今年もやっぱりこれがないやーね
パン食い競走です



日月7日、寿クラブ女性部の皆様より雑巾、千五百三十九枚をいただきました。ひとつひとつ心のこもった手縫いの雑巾を大切に使うていきたいと思えます。ありがとうございます。

寿クラブ女性部の皆様より雑巾をいただきました。



と思っ
と
あ
ん
ほ
柿
は、
利
用
者
の
ご
家
族
様
よ
り
い
た
だ
い
た
も
の
を
皆
さ
ん
で
皮
む
き
し
ま
し
た。
お
正
月
に
は
食
べ
ご
ろ
に
な
る
で
し
ょう。

デイサービスセンター

今年もデイサービス
の畑では、さつ
ま芋と小豆が大
収穫でした。
さつ
ま芋は石
焼き芋に
して、皆
さんで食
べまし
た。小豆
は冬に
至かほ
ちやに
して食
べよう

デイサービス 収穫の秋

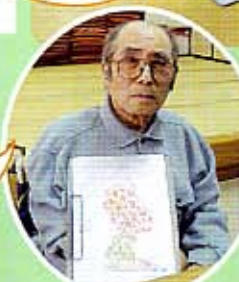


敬老会で楽しい芸を披露してくださった
ボランティアコスモスのみなさん



画家の
気分です

我ながら
うまいと思っ
よう



芸術の秋にも
みじの写生に
トライして
みました。芸
術とりハビ
リの石二鳥
です。



皆様の協力であっという間に掘り起こしました。
出てきた芋の大きさにびっくり!

皆様に植えていただいたさつま芋の苗が、かぼちゃほどもあるかと思うほど、大きく育ちました。

ケアハウス広瀬

今年もなぜか
大きなさつま芋
ができました。



●芋煮会●



戸外で食べるとなぜか食が進みます。なぜでしょうか?

10月9日の穏やかに晴れた日に芋煮会を行いました。豚汁とおにぎりを自分たちで作り、ホームの前の緑地公園にテーブルを出して、ビールで乾杯してから「いただきます」自分たちで作ったのですから、とーぜん、おいしかったです。???

●お茶の会●



簡単そうに見えて、日本の「和」の心でやるのはむずかしいです。

11月18日に、鈴木順子先生を講師にお招きし、表千家のお茶の作法を教えていただきました。抹茶を参加者全員がいただきました。その後は一人でお茶を点てることにチャレンジしました。気持ちが引き締まりました。

●伊達市梁川総合文化祭見学●

今年もケアハウスの陶芸クラブはがんばりました



11月2日に、伊達市梁川体育館で開催された文化祭を見学してきました。ケアハウス陶芸クラブの皆様作品も展示されていますので、楽しみながら見られました。いつもながら、地域の皆様のすばらしい作品に感動しながら、今年は似顔絵コーナーで、似顔絵を描いていただきました。

●押し花教室●



12月3日は、幕田絹先生のご指導で、年末恒例の押し花教室を開催しました。年賀状に押し花をしながら、今年一年を振り返ったり、年賀状を送る相手に思いをめぐらしていました。

●中学生が職場体験で来園●



9月2日に、梁川中学校の2年生が職場体験活動としてケアハウスを訪れ、浴室の清掃をしてくださいます。ピカピカになりました。ありがとうございました。

経済的虐待

高齢者の財産を不当に処分すること、不当に財産上の利益を得ること

**心理的虐待**

著しい暴言、拒絶的な対応、その他の著しい心理的外傷を与える行動を行うこと

**高齢者虐待****身体的虐待**

高齢者の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴力を加えること

**性的虐待**

高齢者にわいせつな行為をすること、又は高齢者をしてわいせつな行為をさせること

介護・世話の放棄・放任

高齢者を衰弱させるような著しい減食・又は長時間の放置等、養護を著しく怠ること

高齢者の虐待は

**早期発見
早期対応**

が大切です

高齢者の虐待を防ぎまいるよう

伊達市梁川地域包括支援センター

TEL(577)6111

虐待を早期に発見するには、高齢者の方や介護されている方からのサインを見逃さない事が重要です。

例としては「ぶつけたら、転んだりしていないのに傷やアザがある」「本人の意思、利益に反して年金や預貯金が使われている」「突然快えたり、異常な程恐ろしがったりする」「部屋が極端に汚ない」「栄養失調がみられる」などがあります。そのほかにも様々なサインがあります。

私ども地域包括支援センターでは、高齢者虐待の早期発見に努め対応しておりますので、虐待に気づいたり、「虐待かもしれない……」と思われるときには、そのままにせず、まずはご相談ください。市や他機関と連携して高齢者の皆様を守ります。



H20年11月11日 天神町婦人会にて、介護保険についてのお話をさせていただきました。

**地域支援
講習会
承ります!**



伊達市梁川地域包括支援センターでは、地域の町内会や婦人会、サロンなどへお伺いし、講演や懇談会、健康教室などを行っています。内容については、人数や参加者に応じて、ご希望に添えるようなご提案をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

介護保険や介護用品など、介護に関するご相談をお受けしております。どうぞお気軽にご相談下さい。

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

TEL 024(577)6111



ボランティア紹介

学校の職場体験
ボランティア体験

9月2日から4日まで、松陽中学校(保原町)の1年生20名、梁川中学校の2年生4名それぞれが職場体験のため、梁川ホームに来園しました。

初日の2日には、ボランティア体験のために梁川中学校の3年生10名も来園しましたので、総勢40名近くになり、施設のあちこちで元気な中学生の姿を見ることが出来ました。

皆さんにお願いしたのは、草むしりやガラス窓ふき、車椅子掃除から居室洗面台の掃除など、普段職員だけでは手の回らない場所や物をきれいに



仕事も利用者の方との交流も一生懸命取り組んでいました



梁川ホームでは高校生・中学生・小学生の皆さんの訪問を歓迎致します。

にしていたくことです。それだけでなく、ケアハウスの入居者と一緒に介護予防体操をしたり、デイサービスや特養ではレクリエーションのお手伝いをしていただき、本当に大活躍でした。

日頃はなかなか子どもさん達と触れ合う機会の少ない利用者の皆さんも大喜びで、ニコニコと生徒さん達に話しかけている姿は、まるでご自分のお孫さんと一緒に過ごしているかのような様子。

松陽中学校、梁川中学校の皆さん、本当にお疲れ様でした。機会がありましたら、またホームに遊びに来てくださね。

ボランティアの
来園状況

(平成20年8月～平成20年11月)

▽山舟生婦人会様(梁川町)
▽ケアハウス押し花教室▽梁川中学校3年生10名(梁川町)
▽草むしり、窓ガラス拭き等
▽県北石工組合様(伊達市等)
▽石臼でだんごの粉・コーヒードロップを挽く▽大友流若竹会様(保原町)▽舞踊▽鈴木順子様(梁川町)▽ケアハウスで茶道お手前披露

敬老会

▽大枝踊りグループ様(国見町)▽舞踊▽ボランティアひろせ様(梁川町)▽利用者介助

デイサービス敬老週間

▽ボランティアコスモス様(梁川町)▽舞踊・歌謡等

彼岸供養

▽臥龍山興国寺大僧正様、副住職様(梁川町)▽物故者供養

運動会

▽ボランティアコスモス様(梁川町)▽利用者介助

定期

▽JAふれあいグループつくし会様(梁川町)▽ボランティア喫茶▽梁理ホーム会様(梁川町)▽理髪▽丹野隆雄様(梁川町)▽ケアハウス陶芸教室指導▽梁川町将棋愛好会様(梁川町)▽将棋クラブ▽伊達

方部退職公務員連盟女性部様(梁川町)▽入所者との対話▽横山葛子様(梁川町)▽書道教室指導▽三浦理容店様(梁川町)▽デイサービス利用者の理髪▽梁川俳句会様(梁川町)▽毎月ケアハウスに俳句を掲示▽鈴木順子様、高橋邦子様(梁川町)▽裁縫▽椎名正枝様(梁川町)▽ケアハウスカラオケ指導▽菅野桃李様、敦賀サト子様(保原町)▽ケアハウス民謡教室指導

「遺志」に芳志に寄付・ご寄贈の状況

(平成20年8月～平成20年11月)

「ご遺志」

八巻 康悦様 (故 八巻 一様)

八巻 昇一様 (故 八巻シン様)

古宮 宏一様 (故 古宮千代様)

斎藤 文雄様 (故 斎藤榮作様)

五十嵐 明様 (故 五十嵐イナ様)

菊池 徹様 (故 菊池テル様)

日下 良則様 (故 日下光日様)

高森 敏光様 (故 高森光男様)

勝山 光雄様 (故 勝山チヨ様)

佐藤 晴雄様 (故 佐藤貞夫様)

「ご芳志・ご寄付・ご寄贈」

●JA伊達みらいモモ生産部会様(伊達市)▽完熟桃▽岡崎時男様(梁川町)▽スイカ▽菊池ノブ子様(梁川町)▽タオル、石鹸▽久保田健一様(梁川町)▽車椅子▽加藤敏雄様(梁川町)▽ソファ▽秋葉哲郎様(梁川町)▽お祝い▽伊達市シルバー人材センター理事長 斎藤勇治様(梁川町)▽お祝い▽大槻文子様(国見町)▽ご芳志▽西戸幸子様(保原町)▽ご芳志▽斎藤富雄様(梁川町)▽ご芳志▽酒井貞子様(梁川町)▽ご芳志▽斎藤すみ子様(梁川町)▽ご芳志▽佐々木正太郎様(梁川町)▽ご芳志▽八巻ケイ子様(梁川町)▽T字帯▽割烹着▽JA伊達みらい梁川総合支店様(梁川町)▽ご寄付▽大枝踊りグループ様(国見町)▽タオル▽三浦十一様(梁川町)▽紙オムツ▽大橋良信様(梁川町)▽タオル▽白根長生会女性部様(梁川町)▽雑巾▽寿クラブ女性部様(梁川町)▽雑巾

